

大阪産業局 ミャンマービジネスサポートデスク短信

2025 年 10 月 1 日

ミャンマービジネスサポートデスク 西垣 充

12 月実施の総選挙がもたらす影響

連邦選挙委員会は、2025 年 12 月 28 日より実施される総選挙に向け、2025 年 9 月 30 日から 10 月 13 日までの 14 日間、該当する各地区・タウンシップの選挙管理委員会事務所などで、有権者名簿を掲示しています。また、やむを得ない事情により、掲示が行えない地区などは、所轄の選挙管理委員会事務所にて閲覧できるようにしていると発表しています。

有権者名簿に登録されている有権者のうち、学生・研修生・受刑者・入院患者など、登録されている居住地の投票区外にいる者のうち、登録されている投票区で事前投票を希望する場合、所定フォームを用いて、所属する学校・研修所・刑務所・病院の責任者を通じて、定められた規定に従い申請することができるとも伝えられています。

旅行などで、一時的に居住地を離れる場合、有権者名簿に登録されている本来の投票区での期日前投票を希望する場合は、2025 年 10 月 12 日までに滞在先の選挙管理委員会において所定フォームにて申請し、2025 年 11 月 25 日から 11 月 29 日までの間に期日前投票を行うことができるとしています。

一方、ある警備会社の話によれば、総選挙に反対する勢力もあることから、「各地域の選挙管理事務所の治安は悪化している」とのことで、少なくとも選挙が終わるまでは注意が必要です。

総選挙特別サイト: <https://www.uec.gov.mm/>

アジア開発銀行(ADB)は 9 月 30 日、2025 年 4 月～2026 年 3 月の実質国内総生産(GDP)成長率予測を、4 月時点の 1.1% から マイナス 3.0% へ下方修正しました。主な要因として、国内紛争の激化や 3 月 28 日にミャンマー中部で発生した大地震により、交通網を含むインフラが破壊されたことを挙げています。

一方、2026 年 4 月～2027 年 3 月の GDP 成長率予測については、4 月時点の 1.6% から 2.0% へ上方修正しました。米国による関税引き上げの影響はあるものの、地震からの復興需要が成長を押し上げると見込んでいます。

また、インフレ率の予測は 2025 年度が 30.0%、2026 年度が 23.0% とされており、厳しい国内経済情勢が続くと予想されています。

以上